

CASBEE-広島 (2010年ver.1)
(仮称)戸坂山崎町マンション

用途等で評価が不要となる項目については、自動的に網掛けが入ります
 欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル CASBEE広島 2009年版
 ■ベース評価ソフト: CASBEE-NCb_2008(v.3.2)

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								3.1
Q1 室内環境			0.40					3.3
1 音環境		2.6	0.15	2.8	1.00			2.8
1.1 騒音		3.0	0.40	3.0	0.40			
1	暗騒音レベル	3.0	1.00	3.0	1.00			
	設備騒音対策		-		-			
1.2 遮音		3.0	0.40	3.7	0.40			
1	開口部遮音性能	3.0	1.00	3.0	0.30			
2	界壁遮音性能		-	4.0	0.30			
3	界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	4.0	0.20			
4	界床遮音性能(重量衝撃源)		-	4.0	0.20			
1.3 吸音		1.0	0.20	1.0	0.20			
2 温熱環境		3.0	0.35	3.0	1.00			3.0
2.1 室温制御		3.0	0.63	3.0	1.00			
1	室温設定	3.0	0.63	-	-			
	夏・冬・春・秋の室温設定		-		-			
3	外皮性能	3.0	0.38	3.0	1.00			
4	ゾーン別制御性		-		-			
	夏・冬・春・秋のゾーン別室温設定		-		-			
	夏・冬・春・秋のゾーン別湿度設定		-		-			
	夏・冬・春・秋のゾーン別空気調和方式		-		-			
2.2 湿度制御		-	-	-	-			
2.3 空調方式		3.0	0.38	-	-			
3 光・視環境		2.3	0.25	4.0	1.00			3.8
3.1 昼光利用		1.8	0.30	4.0	0.50			
1	昼光率	1.0	0.60	5.0	0.50			
2	方位別開口		-		0.30			
3	昼光利用設備	3.0	0.40	3.0	0.20			
3.2 グレア対策		2.0	0.30	4.0	0.50			
1	窓の遮光		-		-			
2	昼光制御	2.0	1.00	4.0	1.00			
3.3 照度		3.0	0.15	-	-			
1	照度	3.0	1.00	-	-			
3.4 照明制御		3.0	0.25	-	-			
4 空気質環境		4.0	0.25	3.6	1.00			3.6
4.1 発生源対策		4.0	0.60	4.0	0.63			
1	化学汚染物質	4.0	1.00	4.0	1.00			
	住戸内建築材料はほぼF☆☆☆☆を使用		-		-			
4.2 換気		4.0	0.40	3.0	0.38			
1	換気量	5.0	0.50	5.0	0.33			
2	自然換気性能		-	1.0	0.33			
3	取り入れ外気への配慮	3.0	0.50	3.0	0.33			
4.3 運用管理			-		-			
1	CO ₂ の監視		-		-			
2	喫煙の制御		-		-			
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-			3.2
1 機能性		2.2	0.40	3.6	1.00			3.4
1.1 機能性・使いやすさ		1.0	0.60	4.0	0.60			
1	広さ・収納性		-		-			
2	高度情報通信設備対応		-	4.0	1.00			
3	バリアフリー計画	1.0	1.00		-			
1.2 心理性・快適性		4.0	0.40	3.0	0.40			
1	広さ感・景観		-	3.0	0.50			
2	リフレッシュスペース		-		-			
3	内装計画	4.0	1.00	3.0	0.50			
1.3 維持管理			-		-			
1	維持管理に配慮した設計		-		-			
2	維持管理用機能の確保		-		-			
2 耐用性・信頼性		3.0	0.31		-			3.0
2.1 耐震・免震		3.0	0.48		-			
1	耐震性	3.0	0.80		-			
2	免震・制振性能	3.0	0.20		-			
2.2 部品・部材の耐用年数		2.9	0.33		-			
1	躯体材料の耐用年数	3.0	0.23		-			
2	外壁仕上げ材の補修必要間隔	3.0	0.23		-			
3	主要内装仕上げ材の更新必要間隔	3.0	0.09		-			
4	空調換気ダクトの更新必要間隔	3.0	0.08		-			
5	空調・給排水配管の更新必要間隔	4.0	0.15		-			
6	主要設備機器の更新必要間隔	2.0	0.23		-			

2.4 信頼性			3.4	0.19			
1	空調・換気設備		3.0	0.20			
2	給排水・衛生設備		3.0	0.20			
3	電気設備		3.0	0.20			
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20			
5	通信・情報設備	情報設備機能の多様化を図る	5.0	0.20			
3 対応性・更新性			2.8	0.29	3.1	1.00	3.0
3.1 空間のゆとり					3.2	0.50	
1	階高のゆとり	階高2.9m以上			4.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ				2.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり					3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			2.8	1.00			
1	空調配管の更新性		3.0	0.17			
2	給排水管の更新性		2.0	0.17			
3	電気配線の更新性		3.0	0.11			
4	通信配線の更新性		3.0	0.11			
5	設備機器の更新性		3.0	0.22			
6	バックアップスペース		3.0	0.22			
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	2.8
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30			2.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40			3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.5	0.30			3.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50			
3.2	敷地内温熱環境の向上	敷地内全体に緑地部分を設けた	4.0	0.50			
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.3
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.4
1 建物の熱負荷抑制			3.0	0.40			3.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.20			3.0
2.1	自然エネルギーの直接利用		3.0	0.50			
2.2	自然エネルギーの変換利用		3.0	0.50			
3 設備システムの高効率化		設備関係は高効率なものを使用する	4.0	0.40			4.0
4 効率的運用							-
4.1	モニタリング						
4.2	運用管理体制						
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.3
1 水資源保護			3.4	0.15			3.4
1.1	節水	節水コマ + 節水便器	4.0	0.40			
1.2	雨水利用・雑排水再利用		3.0	0.60			
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	1.00			
2	雑排水再利用システム導入の有無						
2 非再生性資源の使用量削減			3.2	0.63			3.2
2.1	材料使用量の削減		2.0	0.07			
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.24			
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	杭に高炉セメントを使用	4.0	0.20			
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	陶磁器タイル、集成材	4.0	0.20			
2.5	持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.05			
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み		3.0	0.24			
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.3	0.22			3.3
3.1	有害物質を含まない材料の使用	建材については有害物質を含まない材料を選定する	4.0	0.32			
3.2	フロン・ハロンの回避		3.0	0.68			
1	消火剤	使用目的なし 消火器のみ	4.0	0.33			
2	断熱材		2.0	0.33			
3	冷媒		3.0	0.33			
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.1
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2排出率が、一般的な建物と同等	3.2	0.33			3.2
2 地域環境への配慮			3.0	0.33			3.0
2.1	大気汚染防止		3.0	0.25			
2.2	温熱環境悪化の改善		3.0	0.50			
2.3	地域インフラへの負荷抑制		3.0	0.25			
1	雨水排水負荷低減						
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.33			
3	交通負荷抑制	進入口付近に視界を遮るものが無いようにした	4.0	0.33			
4	廃棄物処理負荷抑制		2.0	0.33			
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33			3.2
3.1	騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40			
1	騒音		3.0	1.00			
2	振動						
3	悪臭						
3.2	風害、日照阻害の抑制		3.0	0.40			
1	風害の抑制		3.0	0.70			
2	日照阻害の抑制		3.0	0.30			
3.3	光害の抑制		4.4	0.20			
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	広告物照明を行わない	5.0	0.70			
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30			